

<子供たち自らが育ててほしい力>

すべての“いのち”がよろこびあふれる今と未来をつくっていく力

持続可能性 Well-being 共生社会



「子供と大人の10+の姿」と「8+のプロジェクト」の円の色は、上記の円の色と対応

子供と大人の10+の姿
子供・学校・家庭・地域からの声を凝縮した、日野市の学校教育に関わるみんなで共有したい姿



<みんなの姿>
自分と他者の多様な個性を認め合い、みんなが安心して表現し、失敗を恐れず挑戦する姿
インクルージョン

<みんなの姿>
変化を起こすために自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動し、やり抜く姿
学びの羅針盤・創造

<みんなの姿>
自分たちで考え、語り合い学び合い、対立を乗り越え協働する姿
対話・協働

<学校の姿>
目指す学校像に向け、チームとして挑戦し、成長を実感する姿
教職員の挑戦

<学校の姿>
自分に合った多様な学びと学び方の選択や、探究的で深い学びを支える姿
探究的で深い学び

<学校の姿>
子供たち全員の居場所と活躍の機会を支える姿
居場所・活躍

<学校の姿>
様々な当事者から応援され、多様な人材が活躍する姿
多様な参画

<家庭・地域の姿>
子供も大人も元気でいられるよう、当事者として学校を応援し、行動する姿
応援

<家庭・地域の姿>
子供たちのありのままを認め、見守り、遊びと学びを支える姿
尊重・支援

<地域・企業・大学の姿>
日野ならではのホンモノの体験・ホンモノの感動を共に作り、味わう姿
ホンモノ・舞台

3つの基本方針
10+の姿から導き出される、関係者みんなで共有する方針

みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる

みんなの多様な学びと多様なしあわせをつくる

社会と未来に開き、みんなで作る

8+のプロジェクト
力・姿・基本方針を踏まえた、関係者それぞれが主体となる具体的な活動

「子供たちがつくる学校」プロジェクト
子供たちが当事者として参画し、学校における営みをつくる活動を支える、子供や学校が主体の取組

「学びの革新」プロジェクト
一人一人が多様な学び方を身に付け、探究的に深く学べるようにする、学校が主体の取組

「〇〇」プロジェクト
すべての“いのち”がよろこびあふれる今と未来をつくっていくことにつながる、〇〇が主体の取組

「地域共創」プロジェクト
地域を舞台として、ホンモノとの関わりの中で遊び、体験し学ぶことにつながる、地域・家庭・企業・大学等が主体の取組

「安心できる学校」プロジェクト
自分と他者の多様な個性を前提に、子供たち全員の居場所と活躍の場を支える、学校が主体の取組

推進方策
構想を推進するための仕掛け

「学校を支える」プロジェクト
学校の選択や挑戦の基盤を整え、意欲ある取組を支える、行政が主体の取組
(具体例)
・第4次学校教育基本構想に基づく多様なプロジェクトへの支援
・働き方改革の推進
・学校支援体制の整備
・施設環境の整備

「多様な学びと学び方」プロジェクト
特別支援教育や不登校をはじめとする、子供たちの多様なニーズを支える、行政が主体の取組
(具体例)
・教育支援センター機能の充実
・発達・教育支援センター機能の充実
・専門家による支援の強化
・福祉政策、子ども政策を含む関係機関との連携体制の強化

「教育DX」プロジェクト
デジタル技術を最大限生かして子供たちの学びや学校を支える、行政が主体の取組
(具体例)
・情報活用能力の育成・強化
・校務支援システム、かしのきシート改善、子供のSOSを把握する仕組みなど、学校デジタル環境の整備・充実
・教員の資質能力の向上・強化

「スクールコミュニティ」プロジェクト
学校と保護者・地域・企業・大学等が出会い協働する場面を支える、行政が主体の取組
(具体例)
・コミュニティスクールの充実
・地域学校協働本部の充実
・学校施設の活用促進
・部活動改革の推進

<行政>

- 下段の4つのプロジェクトすべてについて、年度ごとに、その推進のための方策を「年度重点施策」に位置付け、「教育委員会評価」で活用・改善
- 子供・学校・家庭・地域のプロジェクトの支援と情報発信

<学校>

- 年度ごとに、学校として重点的に取り組むプロジェクトを選択・更新又は新たに立ち上げ、「学校経営方針」のもとに具体的な方策として位置付け、「学校評価」で活用・改善
- 教職員による第4次学校教育基本構想に基づく取組の共有

<家庭・地域等>

- 学校運営協議会、地域学校協働本部、PTA、企業、大学などを主体とした多種多様なプロジェクトを「地域共創プロジェクト」や他のプロジェクトとして位置付け、取組の共有・情報発信
- 各家庭による第4次学校教育基本構想に基づく取組の共有

行政、学校、家庭・地域の年度ごとの取組を、第4次学校教育基本構想の推進方策として一体的に位置付け

構想の土台

年度ごとの実践の積み重ね

一律一斉の学びから 自分に合った多様な学びと学び方へ 自分たちで考え 語り合いながら生み出す学び合いと活動へ わくわくが広がっていく環境のデザインへ

第3次日野市学校教育基本構想(H31-R5)に基づく実践の積み重ね・成果



50+回のワークショップ

14,000+人の声